

	<h2>62. 養豚章</h2>	★ 考査員認定	
---	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 豚の品種について次の3種を見分け、それぞれの特質を簡単に説明できること。 ア 大ヨークシャー種 イ ハンプシャー種 ウ ランドレース種	口述または記述	・ 実物または図示による。
(2) 生後6か月までに与える豚の飼料について、1か月ごとの種類、配合、分量、1日の回数、及び給餌上の注意事項を記した給与表を作成すること。	作品（給与表）の提出	・ 6か月の発育状況を理解していること。
(3) 豚の体重を「体重簡易測定法」を用いて計量できること。	実演	・ (例) 体重(貫) = 体長(尺) × 胸囲(尺) × 2
(4) 仔豚登記と種豚登録の意義、その書類に記載することがら及び提出時期、方法を説明できること。	口述または記述	・ 日本種豚登録協会の規程を参考にする。
(5) 豚の次の病気について、それぞれの症状と予防法を説明できること。 ア 豚コレラ イ 日本脳炎 ウ 下痢 エ 寄生虫による病気	口述または記述	・ 健康状態の特色と病気の早期発見を理解していること。
(6) 豚舎(20～50頭収容)の設計図を書き、これに基づいて自分の考えを述べること。	作品（設計図）の提出	・ 設備、配置、作業性など。
(7) 1頭以上の豚について、1か月間の観察記録を資料とした飼育日誌を提出すること。	報告書の提出	・ 作業の内容を主に、特に飼料についても記録させる。